

6年 7月 9日

長野県知事 様

6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から 7 年度	
会社名	交友技研株式会社	
住所	〒381-2212 長野市小島田町新田1197-1	
代表者名	代表取締役 小池 市蔵	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	エコアクション21 環境管理責任者	
担当者名	和田 花道	
連絡先	TEL	026-283-0368
	FAX	026-285-5688
	電子メールアドレス	kouyugiken@gamma.ocn.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.	

1 産業廃棄物3R実践方針

環境保全活動取り組み手段として、エコアクション21や、ながのエコ・サークルの活動に沿って実行していきます。

環境負荷の低減に取り組み、教育・研修等を通じ全従業員理解の上、実践してまいります。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
総排出量の推移 ($t \cdot kg \cdot m^3$)	210	213.512	61.31	493.64
リサイクル量の推移 ($t \cdot kg \cdot m^3$)	210	213,512	61.28	493.64
売上高の推移 (円)	130,000,000	129,000,000	129,000,000	134,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

- ・収集運搬車両には、社名及び許可番号の入った表示をする。
- ・一覧表を保管する。

処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画

- ・現場代理人は工事毎に処理場に出向き、施設状況及びリサイクル状況の確認を行う。

従業員教育(研修)計画

- ・エコアクション21及び、ながのエコ・サークルの環境管理責任者・事務局を中心として、基礎知識及び関係法令の意識の向上を図る。(年2回)
- ・ごみの減量化を図るため、ごみの分別を徹底する。
- ・毎月の安全教育訓練において、産業廃棄物処理に関しての教育を徹底する。

リサイクル促進に向けた取組

- ・型枠工事において、廃材の出ない残存型枠を使用し、廃材排出の抑制をする。
- ・エコ商品やリサイクル商品の推進を行う。

処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

- ・委託処理した廃棄物が不適切処理されたことが判明した場合は、直ちに関係機関に連絡するとともに、状況把握を行い、関係機関との連絡を密に取りながら原因の究明を行う。
- ・不適切処理された廃棄物の撤去や、最終処分については、原因者に強く要請するが、排出業者責任として適切に処理する。

不適正処理を発見した場合の協力体制

- ・一人一人の社員が自発的に行動できるよう、教育・勉強し適切な処理をする。

独自に取り組む事項

- ・エコアクション21の環境経営システムを運用・維持していく。
- ・作業用自動車・連絡車の燃料軽減を考え走行方法を考える。

以下の観点も参考としていただいで構いません。(必要に応じ写真等を添付してください。)

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度 目標値	5年度 実績値	4年度 実績値	3年度 実績値
再生アスファルト	100	100	50	100
埋戻し材再生砕石	100	100	70	100
全 体	100	100	60	100